

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時 平成29年6月1日(木) 9:40～11:40

場所 浜田市旭小学校

対象 6年生児童 12名

指導者 旭小6年担任教諭1名

埋蔵文化財調査センター職員1名

1. 主題 古代の旭の歴史を学ぼう！ ～金属鏡づくりに挑戦！～

2. わらい

○校区内から遺跡が出土していることなどを知ることを通じ、身近な地域の文化財や歴史学習への興味や関心を高めるとともに、ふるさとに対する愛着の気持ちを育てる。

○実際の土器や石器などの古代の道具に触れ、鏡作りを体験することで、古代人の生活の様子や生活の知恵・技術等について考えることができるようにする。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	分担
9:40 (5分)	今日の学習の流れを知る。	・講師紹介 ・自己紹介と埋文センターの仕事の紹介をする。 ・学習の内容やわらいを説明する。	担任 埋セン
9:45 (25分)	古代の旭の歴史を学ぶ。 ・旭小周辺の遺跡の様子 ・古代の人々が使った道具	・旭小校区周辺の遺跡分布を提示し、身近な場所に遺跡があることを知らせる。 ・本物の遺物(土器など発掘されたもの)を見たり、触ったりしながら、古代人の生活を想像させる。 ・遺物にふれてもOK?	埋セン
10:10	体験活動の準備		
10:15 (80分)	金属鏡づくりに挑戦しよう！ ・鏡って何だろう？ ・鏡作りの説明 ・鏡の鑄造・鏡磨き体験	・古代に鏡が果たした役割について知る ・ペアで作業をすすめる。 ・安全面に十分注意する。 ・途中トイレ休憩をとる。	埋セン 担任
11:35 (5分)	学習のまとめをしよう	・感想発表をする。(時間があれば) ・アンケートに答える。 ・記念撮影をする。	担任